

VC++版使用のために

Visual C++版は Delphi 版を基にして作成されたので、Delphi 版との使用上の大きな違いのみを以下に説明する。他は Delphi 版の使用説明を参照されたい。

プログラムを起動すると図 1 のフォームが表示される。

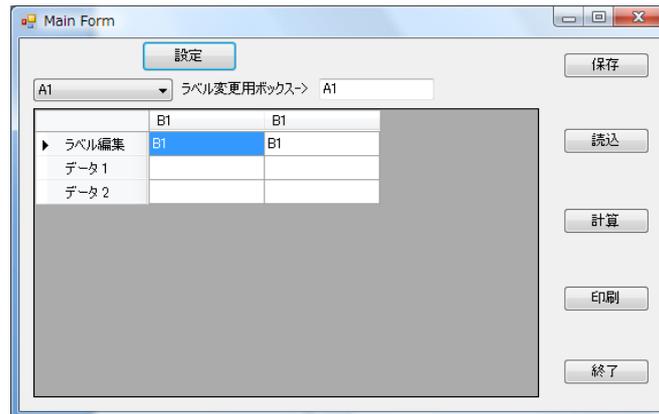


図 1

「設定」ボタンのクリックで図 2 のフォームが現れる。

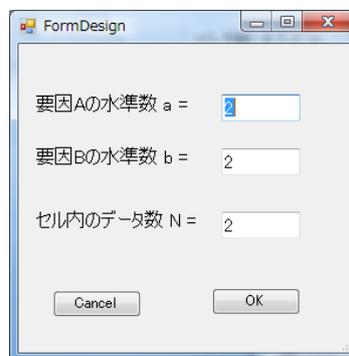


図 2

各要因の水準数と水準内のデータ数 N を設定して「OK」ボタンをクリックすると図 1 のグリッドが設定値に調整される。既に用意されているデータを読み込むときは「読み込」ボタンをクリックする（Delphi 版と同じ）。データファイル data.txt を読み込んだ状態が図 3 である。

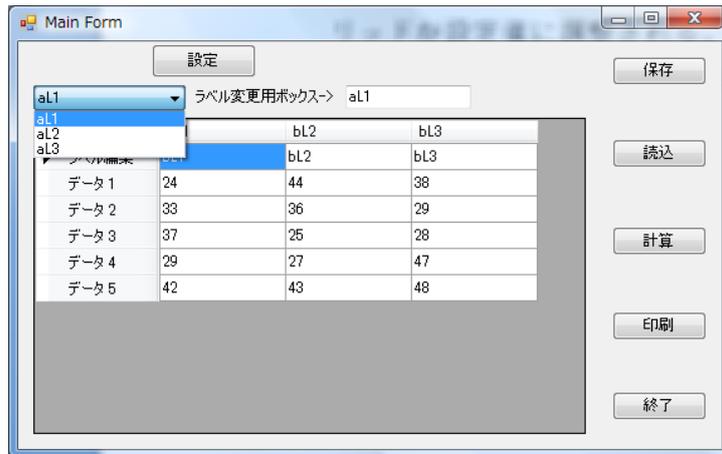


図 3

comboBox のドロップダウンリストの項目を選ぶとその水準のデータが表示される。また横の「ラベル変更用ボックス」の文字列を変更すると表示されている水準のラベルが変更される。

「計算」ボタンのクリックで計算が始まることなどは Delphi 版と同じである。